

週間漁海況情報—第11号

平成25年3月18日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

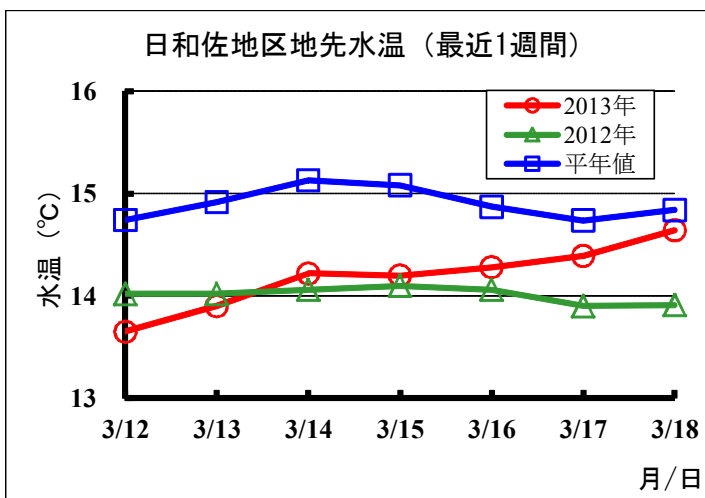
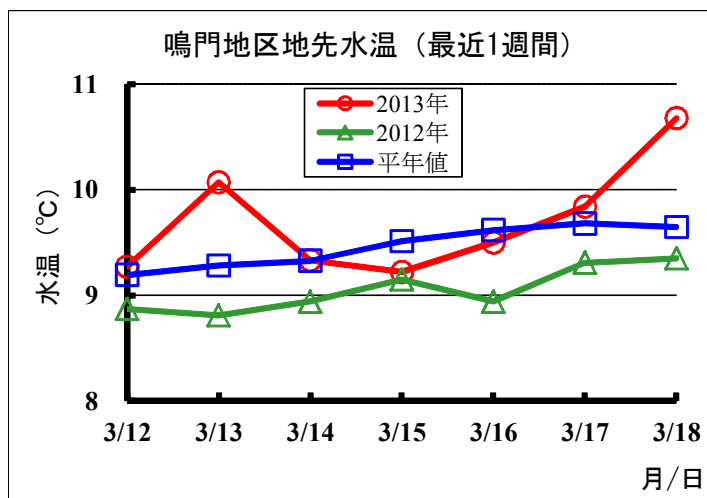
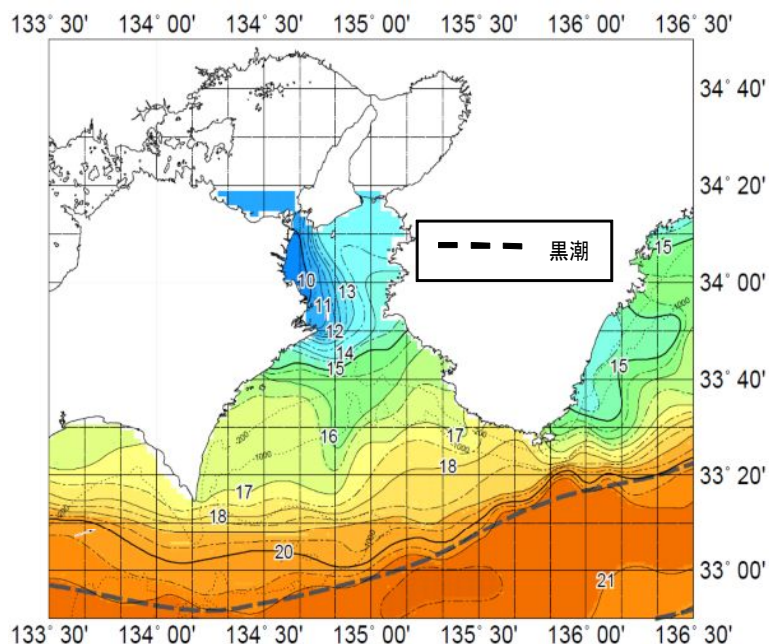
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.3.18）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9～10℃台、紀伊水道で9～13℃台、海部沿岸で13～18℃台である。紀伊水道外域への顕著な暖水流入は確認できない。紀伊水道中央部を南に、15℃台が南下している。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の9.2～10.7℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の13.7～14.6℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の14.2～16.4℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.5トン（1日1隻あたり15kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、メジロが0.3トン（同42kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが4.1トン（同87kg）、サバ類が0.2トン（同24kg）、キビナゴが1.9トン（同92kg）、アオリイカが0.4トン（同6kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、特大主体にマアジが0.3トン（同40kg）、小主体にゴマサバが0.2トン（同30kg）、10kg程度主体にブリが20.3トン（同2,900kg）、メジロが0.3トン（同40kg）、中主体にイシダイが0.4トン（同52kg）、中主体にクロダイが0.2トン（同34kg）、大主体にアオリイカが0.3トン（同37kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、特大主体にヨコワが1.0トン（同54kg）、ハマチが0.2トン（同17kg）、大主体にアオリイカが0.2トン（同10kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 3月11日～3月17日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	31	470	15	大主体
建網		メジロ	8	334	42	
小型定置網		カタクチイワシ	47	4,075	87	
		サバ類	9	217	24	
		キビナゴ	21	1,936	92	
		アオリイカ	62	356	6	
大型定置網		マアジ	7	277	40	特大主体
		ゴマサバ	7	211	30	小主体
		ブリ	7	20,298	2,900	10kg程度主体
		メジロ	7	279	40	
		イシダイ	7	365	52	中主体
		クロダイ	7	236	34	中主体
		アオリイカ	7	257	37	大主体
		釣り	ヨコワ	18	978	54
ハマチ			13	217	17	
アオリイカ			23	220	10	大主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の3月12日～18日には、海部沿岸では、延縄で、大主体にキダイが0.4トン、建網で、ブリが0.5トン、小型定置網で、いわし類が0.3トン、マイワシが0.3トン、カタクチイワシが1.8トン、アオリイカが0.3トン、大型定置網で、中主体にイシダイが0.8トン、いわし類が1.9トン、クロマグロが0.4トン、ブリが4.0トン、小小主体にマアジが0.3トン、小主体にマサバが1.3トン、マルソウダが0.4トン、メジロが1.9トン、釣りで、大主体にアオリイカが0.2トン、紀伊水道では、パッチ網で、イカナゴが0.7トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」～「やや高め」の10℃台、日和佐地先で「平年並み」の14～15℃台で推移する見込み。